

報告書抄録

ふりがな	ふくいじょうあと							
書名	福井城跡							
副書名	北陸新幹線建設事業に伴う調査6							
巻次	第一分冊遺構編・第二分冊遺物編							
シリーズ名	福井県埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	第177集							
著者名	御嶽貞義(編) 木村孝一郎(編) 青木隆佳 秋山綾子 佐々木芽衣 杉田曜 九千房百合 中原義史							
編集機関	福井県教育庁埋蔵文化財調査センター							
所在地	〒918-8226 福井県福井市大畑町97-21-3 TEL:0776-53-7977 E-mail: maibun-c@pref.fukui.lg.jp							
発行年月日	西暦2022年3月14日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡 番号					
ふくいじょうあと 福井城跡	ふくいけん 福井県 ふくいし 福井市 とよしま 豊島1丁目	18201	01141	36° 3' 29"	136° 13' 14"	20150401 ～1130 20160401 ～1228	3,070㎡ (表面積)	記録保存 調査
所収遺跡名	種別	主な 時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
福井城跡	城郭 城下町	中世 近世 古墳時代 奈良・平安時代	道路、屋敷境溝、井戸、廃棄土坑など 自然河川、溝、土坑 など	土器(土師質皿)・陶磁器・瓦・木製品(下駄・漆器)・石製品(行火・石瓦)・金属製品(刀装具・煙管)・自然遺物(種子・骨)など 須恵器・土師器・鉾滓など	外曲輪の城ノ橋地区で、道路や石組水路に区画された5つの街区(屋敷地)にまたがり、城郭内では珍しい町屋の建ち並ぶ部分を検出した。このうちE街区は江戸時代を通して町屋だった街区である。			
要約	北陸新幹線建設事業に伴う調査のうち、地方主要道福井加賀線の起点部分である「城の橋通り」から南側の足羽川までの範囲である。調査区は、福井城の外曲輪のうち南東部の「城ノ橋」地区にあたる。大部分が武家屋敷地で、道路・石組水路などの街区に関わる遺構や、屋敷境溝・井戸・廃棄土坑などの屋敷地に関わる遺構が検出された。また、下層から古代(奈良・平安時代)の遺構・遺物が検出されており、古代の包含層からは炭化物や焼土とともに鉾滓なども検出された。							

福井県埋蔵文化財調査報告 第177集

福井城跡

—北陸新幹線建設事業に伴う調査6—

第1分冊 遺構編

令和4年3月4日 印刷

令和4年3月14日 発行

発行 福井県教育庁埋蔵文化財調査センター

〒918-8226 福井市大畑町 97-21-3

印刷 創文堂印刷株式会社

〒918-8231 福井市問屋町 1丁目 7番地
